愛媛県 定点把握五類感染症　　2026年　第 46 週 (2026.11.9～11.15)

■患者報告数

		ARI定点					小児科定点											
		急性呼吸器感染症[1]	インフルエンザ[2]	*迅速検査A型	*迅速検査B型	新型コロナウイルス感染症[3]	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎		
保健所別	四国中央	178	61	55						20							四国中央	保健所別
	西条	505	103	102		2	3		8	23		2		1			西条	
	今治	287	30	29		6	7		6	8			1	3	1		今治	
	松山市	1292	176	130		8	2	3	77	36	2			4	3		松山市	
	中予	438	50	43			2		13	1	1	1			3		中予	
	八幡浜	429	80	75		1		1	1	11					3		八幡浜	
	宇和島	197	37	33		1			1								宇和島	
週推移	愛媛県	3326	537	467		18	14	4	106	99	3	3	1	8	10		愛媛県	週推移
	1週前	3056	673	580	3	30	15	4	84	78	4	4		5	12		1週前	
	2週前	3346	1060	949		26	28	5	108	68	4	4		12	21		2週前	
	3週前	3118	867	791		25	11	3	82	67	6	8		10	12	1	3週前	
年齢別(ARI定点疾患)	0-5ヶ月	166	1				2										0-5ヶ月	年齢別(小児科定点疾患)
	6-11ヶ月		5	2			1		1	5				2			6-11ヶ月	
	1	1277	14	11			6	1	3	18		1		6	5		1	
	2		20	18		1	3	1	6	15		1			2		2	
	3		16	15			1	2	8	12		1					3	
	4		22	20		1			11	12	1		1		2		4	
	5	811	24	19					10	5	1						5	
	6		28	26					8	10							6	
	7		30	26		1			6	2							7	
	8		41	38					10	4							8	
	9		47	43			1		9	2							9	
	10-14	444	134	118		2			22	8	1				1		10-14	
	15-19	121	31	26		3			6	3							15-19	
	20-29	54	17	14		1			6	3							20-	
	30-39	83	30	24														
	40-49	72	23	18		1												
	50-59	81	28	25		2												
	60-69	65	9	8		4												
	70-79	92	12	11		1												
	80-	60	5	5		1												

■定点当たり報告数

保健所別	四国中央	44.50	15.25	−	−					10.00							四国中央	保健所別
	西条	84.17	17.17	−	−	0.33	0.75		2.00	5.75		0.50		0.25			西条	
	今治	71.75	7.50	−	−	1.50	3.50		3.00	4.00			0.50	1.50	0.50		今治	
	松山市	107.67	14.67	−	−	0.67	0.29	0.43	11.00	5.14	0.29			0.57	0.43		松山市	
	中予	109.50	12.50	−	−		1.00		6.50	0.50	0.50	0.50			1.50		中予	
	八幡浜	107.25	20.00	−	−	0.25		0.50	0.50	5.50					1.50		八幡浜	
	宇和島	49.25	9.25	−	−	0.25			0.50								宇和島	
愛媛県		87.53	14.13	−	−	0.47	0.67	0.19	5.05	4.71	0.14	0.14	0.05	0.38	0.48		愛媛県	

1) 症例定義(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例)に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。
(インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。)

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。

*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計しており、重複感染の場合はA型・B型両方に計上しています。

(参考) 保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
ARI定点	38	4	6	4	12	4	4	4
小児科定点	21	2	4	2	7	2	2	2

注)表中の報告数は11月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県感染症情報センター

愛媛県 定点把握五類感染症 2026年　　第 46 週 （2026.11.9～11.15）

■患者報告数

		眼科定点		基幹定点									
		急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎[1]	細菌性髄膜炎[2]	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎[3]	インフルエンザ（入院）[4]	新型コロナウイルス感染症（入院）[5]		
保健所別	四国中央	－	－						3		四国中央	保健所別
	西　条		1						2		西　条	
	今　治		1						2		今　治	
	松山市		5	－	－	－	－	－	－	－	松山市	
	中　予										中　予	
	八幡浜								3		八幡浜	
	宇和島		1		1				3		宇和島	
週推移	愛媛県		8		1				13		愛媛県	週推移
	1週前		5				2		16	7	1週前	
	2週前		2		1				16	1	2週前	
	3週前		3				1		10	2	3週前	
年齢別（眼科定点疾患）	0-5ヶ月				1						0	年齢別（基幹定点疾患）
	6-11ヶ月										1-4	
	1										5-9	
	2								3		10-14	
	3										15-19	
	4										20-24	
	5										25-29	
	6										30-34	
	7										35-39	
	8								1		40-44	
	9										45-49	
	10-14										50-54	
	15-19										55-59	
	20-29		1								60-64	
	30-39										65-69	
	40-49		5						9		70-	
	50-59		1									
	60-69		1									
	70-											

■定点当たり報告数

保健所別	四国中央	－	－						3.00		四国中央	保健所別
	西　条		1.00						2.00		西　条	
	今　治		1.00						2.00		今　治	
	松山市		1.67	－	－	－	－	－	－	－	松山市	
	中　予										中　予	
	八幡浜								3.00		八幡浜	
	宇和島		1.00		1.00				3.00		宇和島	
愛媛県			1.00		0.17				2.17		愛媛県	

1) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）。
2) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
3) オウム病を除く。
4) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
5) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

（参考）保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西　条	今　治	松山市	中　予	八幡浜	宇和島
眼科定点	8	－	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	－	1	1	1

注）表中の報告数は11月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県　全数把握感染症　2026年　第46週 （2026.11.9～11.15）

| 類型 | | 二類 | 三類感染症 | | | | | 四類感染症 | | | | |

全国　定点把握感染症　2026年 第45週 （2026.11.2～11.8）

（定点当たり報告数）

（定点当たり）		ARI定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		急性呼吸器感染症[1]	インフルエンザ[2]	新型コロナウイルス感染症[3]	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎[4]	細菌性髄膜炎[5]	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎[6]
愛媛県		80.42	17.71	0.79	0.71	0.19	4.00	3.71	0.19	0.19		0.24	0.57			0.63				0.33	
近県	香川県	40.30	3.96	0.17	1.15		0.54	1.92	0.08			0.23	1.00					0.20		2.00	
近県	徳島県	34.67	4.82	0.33	0.62	0.14	1.57	2.95	0.14	0.05	0.33	0.19	1.05	0.10						0.14	
近県	高知県	46.15	5.67	0.38	0.10	0.05	1.05	1.05		0.14		0.33	1.57					0.13			
全国		64.07	11.00	0.76	1.14	0.18	1.32	3.14	0.19	0.53	0.03	0.21	0.51	0.03	0.00	0.48	0.01	0.02	0.04	0.49	0.00
北海道		67.65	28.32	2.61	1.32	0.45	2.92	2.11	0.20	0.40	0.02	0.06	0.07	0.03		0.38				0.22	
東北		78.51	19.21	1.22	0.96	0.10	1.18	1.94	0.24	0.18	0.01	0.26	0.38	0.04		0.27	0.03	0.02	0.03	0.42	
関東		74.34	10.49	0.87	0.86	0.08	1.15	3.30	0.15	0.52	0.03	0.17	0.46	0.03	0.00	0.43		0.01	0.03	0.92	
甲信越北陸		66.27	12.28	0.93	1.19	0.20	1.19	3.41	0.17	1.78	0.01	0.15	1.02			0.33	0.04		0.02	0.61	
東海		60.18	9.01	0.51	1.39	0.14	1.13	2.99	0.26	0.46	0.02	0.25	0.55	0.01		0.15		0.03	0.03	0.74	
近畿		47.93	7.71	0.46	1.70	0.24	1.03	2.74	0.18	0.61	0.02	0.17	0.44	0.02	0.02	0.34		0.05	0.10	0.38	0.02
中国四国		56.68	8.19	0.46	1.25	0.20	2.13	3.18	0.18	0.13	0.05	0.22	0.58	0.03		0.50	0.01	0.03	0.03	0.47	
九州沖縄		58.53	9.17	0.29	0.75	0.29	1.31	4.34	0.24	0.35	0.03	0.36	0.54	0.05		1.54	0.02	0.01	0.04	0.11	

（11月11日集計）

1) 症例定義（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例）に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。（インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。）

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く.

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る.

4) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）.

5) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く.

6) オウム病を除く.

愛媛県感染症情報センター

全国　全数把握感染症　2026年 第45週 （2026.11.2～11.8）

| 類型 | | 二類 | 三類感染症 | | | | | 四類感染症 | | | | |